

～ブランド米づくりで地域を守る～
坂本 憲俊さん(東温市(旧川内町))



ほたる
穂田琉

代表 1952 年生まれ

ホームページ <https://hotarufarm.com/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/hotaru.amatakiya>

☆経営概況☆

東温市河之内の棚田で家族労働により生産した米を穂田琉（ほたる）米としてブランド化し、生産販売しています。（稲 3.1ha シキミ 30a）

☆ここがポイント☆

■農業に喜びを感じたことから！

若い時は、手伝い程度で継ぐ気もなかったんです。しかし、40代半ばで親が病気になったので自分でやり始めた時に、JAにお願いして食味値を図ってもらおうと、地域トップクラスでほめられたんですよ。そこではじめて**農業に喜びを感じた**ことが、農業を続けていくきっかけになりました。

■ブランド化に挑戦！

第3回全国すし米コンクールに出品して、自分の栽培したお米が美味しいことに気が付き、また、全国の様々なブランド化している優秀な方々に出会い話を聞くうちに、味・安全性・品質を全て兼ね備えたお米は意外に少ないことが分かってきました。そこで、**自分でブランド化して販売**していこうと思いました。

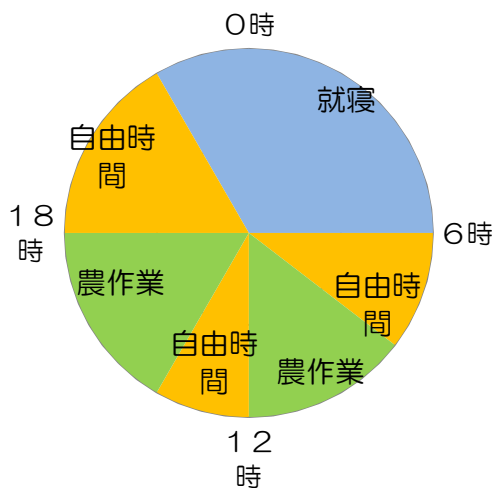


稲木米の脱穀作業



乾燥・調整作業

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

「人生愉しむに如かず」をモットーに、**家族や仲間を大事**にして、米づくり、地域自治活動に取り組んでいます。週1回はテニス、夏は登山、冬はスキー。年間を通して研修を兼ねたプチ旅行が趣味だったんですけど、米がブランド化し栽培面積が拡大するにつれて忙しく、地域のことや人と会う機会も多くなり、楽しくも余裕がないのが悩みです。(笑)

いつもスマホやカメラ片手に農場カメラマン。**フェイスブック**を通じて情報発信や交流に努めています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 農作業 →					← 休日 →
【普通期】	← 農作業 →				← 穂田琉米 PR 活動 →	← 休日 →



穂田琉米田植祭

☆これからの夢や目指すもの☆

■サイクリストや観光客の休憩所をつくりたい！

古民家を改装・整備した直売所(雨瀧屋)を拠点に、近くを多く走る**サイクリストや観光客の休憩所**にしたいと考えています。また、自分の住んでいる地域に、観光客など人が滞留して、この地域の良さを知ってもらい、また来てもらうことで、地域の活性化につながればと思います。

☆メッセージ☆

■美しい風景を守りたい！

この地域(河之内)を、この風景を守りたい。**美味しい米のある地域は美しい風景**がある。そのためにも、この地域の知名度を高め、河之内の米をブランド化してファンをつくり、**楽しみながら地域の持続を目指していき**たいです。フェイスブックページで、情報発信しています。